



# Factsheet ファクトシート

ねこ、なんでも百科事典 ねこと人が素敵に共存するために

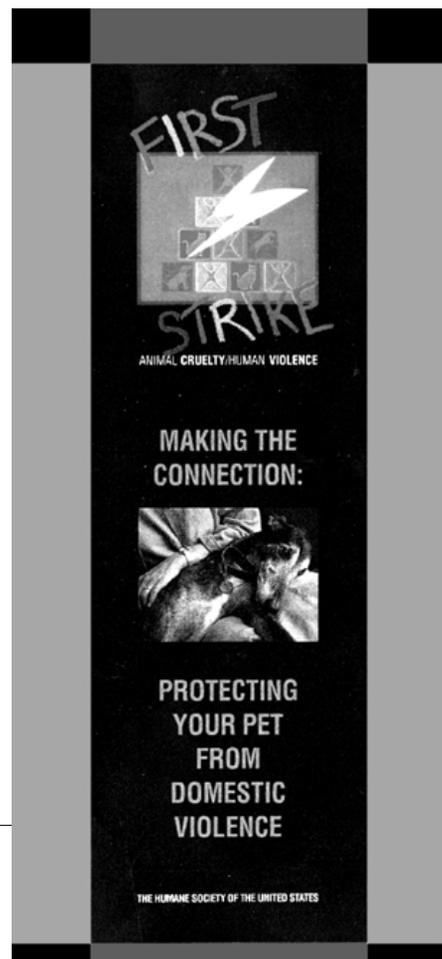
別冊付録

## ファースト ストライク

- 家庭内暴力からペットを守る -

ペットは多くのアメリカの家庭において家族の一員となっていますが一方暴力の起きている家庭ではペットはしばしばその暴力的な配偶者によって脅されたり傷つけられたりしています。家庭内暴力から逃れるためにシェルターへやってきた女性について最近行われた幾つかの調査によると、ほぼ半分が配偶者によってペットが脅されたり傷つけられたり、又殺されたりしたことを報告しています。他にも残されたペットが虐待されるのではないかと、との恐れからシェルターへの避難が遅れたとの報告もあります。

配偶者がペットを威して傷を負わせたことがあったとすれば、そのペットも家族も同様に危険な状況にあると言えます。私たちは行動を起こすことを強く勧めます。全ての家族、子供達、そしてペットを守るために。



**"FIRST STRIKE  
MAKING THE CONNECTION:  
PROTECTING YOUR PET FROM DOMESTIC VIOLENCE"**  
The Humane Society of the United Statesの許可をいただき、翻訳しました

只今制作中

配布可能な項目のみを  
暫定でお届けしています

ゲラ刷りのコピーを  
仮止めしました

いのちにやさしいまちづくり

NPOねこだすけ

〒160-0016 東京都新宿区信濃町10 Tel & Fax: 03-3350-6440  
<http://www02.so-net.ne.jp/~nekonet/>





## 家庭内暴力からペットを守る：一般的な疑問にお答えします

動物に危害を加える配偶者は家族をも傷つけますか？

有ります。どのような方法にしる動物を殴ったり蹴ったり投げたりあるいは傷を負わせるとすればそれは暴力的になることを示す明確な兆候です。配偶者がペットをひどく怯えさせたり危害を加えたとすればとても危険です。避難することを考えてください。

どのようにしてペットを守るのですか？

家庭内で暴力が起こった場合子供達やペットを避難させるための緊急計画の段取りを考えておくことはとても重要なことです。

避難した場合、誰がペットの世話をしてくれるのですか？

世話をしてくれる家族の誰かや友人を見つけることが望ましいですが不可能な場合地元の動物保護管理局、「配偶者による暴力に苦しむ婦人のための避難所（シェルター）」、世話をしてくれる犬舎、獣医等と連絡を取り簡単な事情説明をしてください。動物福祉協会に預ける、里親探しをもらう、または一時的に友人がその世話を引き受けてくれれば長期的に計画をねる余裕もできます。

シェルターや友人に預けることにおいて  
ペットに危険は及びませんか？

暴力的な配偶者がペットを探しにくることは無きにしもあらずです。配偶者に情報を漏らしそうな人には保護場所を明かさないうように、ペットの保護者に伝えておきます。またペットやその保護者の安否を確認しようとペットの臨時預かり先を訪れることも控えるようアドバイスをされます。

ペットは全てのワクチンを  
きちんと受けている必要がありますか？

はい。ほとんど全ての動物病院、犬舎、シェルターはワクチンを要求しています。このワクチン証明書がない場合もう一度ワクチンが必要になることもあります。

急に家から避難しなければならないときでもすぐに持ち出せるようワクチン等の診察記録は安全な場所に保管しておきます。この記録がなくてもペットのワクチン接種が済んでいるときは係付けの獣医師に話して記録の写しを送ってもらえますが、接種が済んでいないときは獣医師に接種をお願いします。地元福祉機関が低料金または無料でワクチン接種を提供している場合もありますので職業別電話帖のアニマルシェルター、動物福祉団体を調べてください。

ペットが自身の所有であるどうやって証明するのですか？

配偶者は時として相手を怯えさせるためにペットを自分の管理下に置こうとします。氏名の付いた動物登録証、ワクチン証明書、動物病院の受領書などがあれば所有者証明に多いに役立ちます。

ペットを安全な場所に移動するとき  
何を留意すればいいですか？

ペットの移動の用意が可能であれば下記のペット用品を、配偶者の気付かない安全な場所に準備しておきます。

ワクチン記録、治療記録

首輪、身分証明書

犬用皮紐

猫用キャリーバッグ

医薬品

臨時の保護者に渡すための、給餌予定、健康状態、

好き嫌い、そして可能性のある問題行動などに関する情報シート

食器、寝床、おもちゃ、毛づくろいの道具、

お気に入りの毛布などなど。

注意：もとの世帯が判別できる札の使用は避けてください。また拘束されていない猫は怯えて逃げ出すことがあるので猫を運ぶためのキャリーバッグはとても重要です。キャリーバッグが手元にないときは枕カバーが緊急時に役に立ちます。

ペットを残して避難しなくてはならないときは  
どうすればよいですか？

ペットを連れ戻すために帰宅するときは法執行係管に同行をお願いします。ほとんどの地域でペットは所有物として認知されています。

ペットは里子に出した方がより幸せなのでしょうか？

決断できるのは飼い主だけです。愛するペットを手放すことはとても悲しいことですが、それがペットと飼い主両方にとって一番よい場合もあります。例えば引っ越しは費用がかかります。また多くの住宅はペット禁止ですし許可であったとしても経費が余分に請求されることもあります。新しい家庭でペットが安全にいらしていくことが分かれば、それは決断を促し感情的にも経済的にもより楽に暴力から避難することができます。

アニマルシェルターは全ての動物達に里親を見つける保証こそできませんが、しかし多くの動物達に安心できる家庭を見つけています。シェルターのスタッフにとって、家庭できちんと躾をされているかどうか、従順にいられるかどうか、子供達や他の動物達に好意的かどうか、などの正確な情報を得ることはペットに新しい家庭を見つけることにとても役立ちます。ペットの病歴、行動、好き嫌いなどについての詳細に加え、新たな質問事項があったときにスタッフが連絡を取れるように連絡先を添えてシェルターのスタッフに渡してください。

愛するペットと離れて暮らす寂しさをいやすために、そして家族や子供達のために、ペットの写真は大きな慰めとなるはずでです。

